

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営塾では、経営研修やグループワークを通じた演習を拡充し、経営能力が向上した若手経営者19名を確保した。 ・林業経営等を担う人材の確保・育成に向け、基礎的な知識・技術を習得する1年間の研修を実施した結果、9名の研修生全員が県内で林業に就業した。 ・漁業者の確保・育成のため、情報発信を強化するとともに漁業学校研修生や新規就業者への支援により、漁業担い手総合対策事業による新規就業者数は目標を上回る6名となった。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏での就農相談活動等に取り組んだ結果、県外から新たに48人が就農した。 ・女性農業者の情報発信や農業に触れる機会を提供するとともに、女性が働きやすい就労条件等の整備を支援した結果、新たに女性69人が就農した。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・農協の経営改善や機能強化のため、県域組織戦略の構築に向けた協議を重ねた結果、大分県農協・玖珠九重農協・九重町飯田農協が令和3年4月に合併することを決定した。 ・漁業調査船の代船を建造し、これまで以上に正確な漁況・海況・赤潮・資源評価情報の収集・提供が可能となり、漁家の効率的な操業や水産資源管理につながった。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	農業次世代人材投資事業	111.7	160
	林業事業体強化推進事業	120.0	163
	林業新規参入者総合支援事業	100.0	163
	漁業担い手総合対策事業	120.0	164
②	UIJターン就農者拡大対策事業	98.0	164
	女性就農者確保対策事業	111.3	164
③	漁業調査船代船建造事業	—	165

【VI. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第5回総合部会(R1.12)
 ・新規就業者を地域の人たちがしっかりアフターフォローする環境が必要。
 ・農林水産業での女性活躍が必要。

○集落営農推進本部会議 (R2.3)
 ・人をどうやって確保していくのかについての対策が不足している。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・就農学校などの研修制度に加え、就業初期の負担軽減など、円滑な経営開始等を支援するとともに、産地等を牽引する大規模な担い手や参入企業などの確保・育成に取り組む。また、高齢者や女性、障がい者など、誰もが農林水産業の分野で活躍できる環境整備を進める。 ・新規就農者の確保に向け、市町村等が行う就農学校及びファーマーズスクールを中心に、初期の技術研修から経営発展に向けたフォローアップに至るまで、一貫した支援体制を構築する。 ・地区内外からの新たな人材を確保するため、複数の集落営農組織が広域で連携する新法人の設立へ向けた取り組みを進める。 ・アフターコロナを見据え、農業経験のない異業種からの人材の活用を広げるため、作業者の習熟度に左右されないICT・スマート農業の導入を促進し、受入れ体制の強化を図る。